

# 竜巻災害について

沖縄県は、竜巻発生率が全国に比べて高く、特に夏場は雷雨や台風、熱帯低気圧に伴って多く発生し、飛来物による人身被害や建物の損壊などが起こっています。

## 【竜巻が発生した場合の行動】

- ①屋外にいる場合は、頑丈な建物内に避難しましょう。ない場合は、近くの水路のくぼみ等に身を伏せて頭と首を守りましょう。
- ②屋内にいる場合には、窓をしっかりと閉めてカーテンを引いてください。
- ③ガラスが割れ、破片によるケガを防ぐため、窓から離れるか、窓のない部屋や最下階（地下室）などに避難しましょう。



# 災害への日頃からの備えについて

## 災害から身を守る心得、家族で確認すること

災害発生時に冷静で素早い行動を行うことが重要となりますが、それらを行うには、日頃からの備えが大切になります。以下のことについて、日頃から備えておきましょう。

- ①災害時には行政や防災機関の救助が間に合わないことも予想されますので、「自分の身は自分で守る」ことを心がけましょう。
- ②このマップを参照し、指定されている避難場所や避難所、避難ルートについて家族で話し合い確認しましょう。
- ③持出品を持つ人、情報確認する人など家族での役割分担を決めておきましょう。
- ④災害時の家族の連絡方法や集合場所について確認しておきましょう。
- ⑤役場や関係機関などが行う避難訓練や防災訓練に積極的に参加しましょう。



## 非常持出品チェックリスト 一人あたり3日分程度の水・食料等は準備しておきましょう！

飲料水（一人あたり1日3リットル必要）	食料（乾パン、缶詰、カップ麺など）
懐中電灯（予備の電池も含む）	携帯ラジオ（予備の電池も含む）
貴重品（現金、通帳、印鑑、健康保険証など）	医薬品等（消毒液、包帯、絆創膏、風邪薬など）
衣類（上着、肌着、下着、ジャンパーなど）	マッチ、ライター、ろうそく
レインコート、軍手、タオル、ゴミ袋	筆記用具（鉛筆、ノートなど）
缶切り、栓抜き	携帯ティッシュペーパー、生理用品
家族に赤ちゃんがいる場合	
ミルク、ほ乳びん	紙オムツ、綿棒
衣類（肌着、冬場は防寒できる上着など）	ウエットティッシュ、ガーゼ

## ご存知ですか？① 災害用伝言ダイヤル171

地震や豪雨などによる災害が発生し、電話がかかりにくい状況になった場合、安否確認の伝言を登録できるサービスです。局番なしの「171」をダイヤル後、ガイダンスに従ってご利用ください。事前の登録は不要なので、災害時は誰でも利用することができます。

## ご存知ですか？② 携帯電話会社の災害用伝言板サービス

※インターネット閲覧機能付き携帯電話・PHS利用者は、災害時にはお使いの携帯電話会社の災害用伝言板サービスもご利用いただけます。各社の掲示板利用方法等を確認してみましょう。